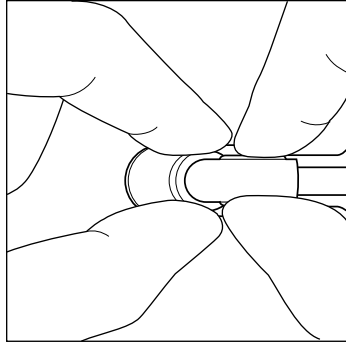


3. 投与後はぬるま湯等でフラッシュし、栄養投与ラインより取り外し、安全に廃棄する。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- ・コネクタをボタン型胃瘻カテーテルから取り外す際には、フィーディングポートとコネクタをしっかり把持すること。[事故抜去のおそれがある。](図2)



【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

(図2)

- 本品で薬液等を注入する前に、本品が経腸栄養ラインに接続されていることを十分に確認すること。
- ・栄養剤投与後は、必ず微温湯によりフラッシュ操作を行うこと。[栄養剤等の残渣の蓄積によるチューブ詰まりを未然に防ぐ必要がある。]
- ・本品を介しての散剤等（特に添加剤として結合剤等を含む薬剤）の投与は、チューブ詰まりのおそれがあるので注意すること。
- ・非水溶性の錠剤を粉碎処理しての投与や散剤、顆粒剤、細粒剤等の投与は、チューブ詰まりのおそれがあるので注意すること。
- ・栄養剤等の投与又は微温湯などによるフラッシュ操作の際、操作中に抵抗が感じられる場合は操作を中止すること [チューブ内腔が閉塞している可能性があり、チューブ内腔の閉塞を解消せずに操作を継続した場合、チューブ内圧が過剰に上昇し、チューブが破損又は破断するおそれがある。]
- ・在宅などの場合、医師が許可し、指導を受けた者が本書の内容を熟知した上で使用すること。
- ・本品とボタン型胃瘻カテーテルとの接続又は取り外しの際に、ボタン型胃瘻カテーテルに無理な力がかからないように注意すること。[事故抜去、又はバンパーの胃壁への埋没及び組織壊死の原因となることがある。]
- ・チューブを鉗子等でつまんだり、ハサミや刃物等で傷つけないこと。[液漏れ、空気混入、チューブ破断のおそれがある。]

<不具合・有害事象>

- 1) その他の不具合
 - ・チューブの閉塞
 - ・ボタン型胃瘻カテーテルの事故抜去
 - ・チューブの破損、変形
 - ・接続部の漏れ、外れ
- 2) その他の有害事象
 - ・感染

【保管方法及び有効期間等】

<保管の条件>

- ・水ぬれに注意して保管すること。高温又は湿度の高い場所や、直射日光の当たる場所には保管しないこと。

<有効期間>

- ・内箱の使用期限欄を参照のこと。[自己認証(自社データ)による。]

**【主要文献及び文献請求先】

<主要文献>

- (1) 経腸栄養分野の小口径コネクタ製品の切替えに係る課題把握及び対応策立案に向けた研究,令和3年度厚生労働科学特別研究事業
- (2) 経腸栄養製品での888型コネクター(旧規格)の併存使用が候補となりうる小児・重症心身障害の病態についての意見,日本重症心身障害学会,2022年2月1日
- (3) 経腸栄養分野の小口径コネクタ製品の切り替えに係る課題において、旧規格製品の使用が考慮される候補の病態ならびに状態像に関する意見,一般社団法人日本臨床栄養代謝学会,2022年4月1日
- (4) 経腸栄養分野の小口径コネクタ製品の切り替えに係る課題における旧規格製品が必要なケースの病態ならびに状態像に関する検討,一般社団法人日本在宅医療連合学会,令和4年4月18日
- (5) 旧規格製品の使用が必要となりうる一部の症例についての意見,PEG・在宅医療学会,令和4年4月21日

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社トップ（添付文書の請求先）
TEL 03-3882-3101